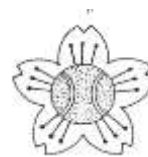


令和6年8月27日発行

横浜市立六浦小学校学校だより



# むつうら



本校教育目標「つながるなかま まち いきいき 六浦っ子」

## 自然の力について考えた、夏でした

校長 内野 泰久

40日近い夏休みも終わり、子どもたちの笑顔が学校に戻ってきました。この夏休みの間、ご家庭などで様々な経験を積んだ子どもたちは、心も体も一回り成長したように感じました。

今年は、オリンピックなどのスポーツのイベントで人が目標に向かうための努力や競い合う場で生まれるドラマなど人間の力に感動したことはもちろんですが、個人的には例年と異なり自然の力について考えることが多かった夏でした。

屋外の活動が制限されるほどの災害級の猛暑で、連日の発表される熱中症警戒アラート、日向灘を震源とした宮崎県の震度6強の地震に端を発した「南海トラフ地震臨時情報」、観測史上3回目の東北地方に上陸した台風や、その後の最大級の勢力の強い台風の発生と接近、度重なる局地的なゲリラ豪雨などです。

特に地震に関しては、自然災害を前に人間がいかに無力ということは東日本大震災等、様々な情報で知識としては分かっているつもりでしたが、実際に「大地震発生の可能性が高まった」という情報に接すると緊張を感じずにはいられませんでした。

発災時に備え、減災に向けた避難場所の確認や家族との連絡方法、備蓄、自分の命を自分で守る「自助」、地域の方々と助け合う「共助」の部分の確認の重要性を改めて感じました。自助、共助といえば、本校では11月には地域の方々や区役所の方と共同で行う地域共同防災訓練を予定しています。これからも、六浦小学校では子どもたちの防災意識の向上ため、計画的に避難訓練を実施するなど、学習する機会をもちたいと考えています。